道路建設 課

お田村名 宋代 野沢温泉村 京の作文 五安 田田内泉 田田田内泉 田田田田内泉 田田田田田田田田田田		別固川計1				車業			-	建設部 追路建設 脒						
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	新規·継続等	新規	分野	主要	な道路の整備	事業 番号	38	事業名		道	路改	築 (地	方道)			
10-20-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	市町村名	栄村~野	沢温泉村		(一) 箕作飯山	ません みご J 線 賞	つ(リ あが 作~明	五 石	事業年度 (完了年度は見込	£ ∆∂+)	:	年度 ~			年度	
日23年度実施的容				道路築造工 L=1,962m W=5.5(7.0)m							事業道	<u></u> 進捗率 0 %				
田上経療験への 日本経験の	# H23年度以	. 降残実施内容	F							本工事費等ベー			ス 0%			
事業費計(千円)	H23年月	度実施内容									ベー	Z 0 %				
関連支出金 1,375,000 0 0 0 787,500			全位	本事業費	H21年度まで		Н	22年度	H	23年度		H23年度以降残				
東京	事業費		· '		-			-								
原産	要品。		1,5	375,000	0 0					0			1,37	5,000		
一般財産 337.500 0			7	87 500	0			0		0			787	500		
# 1								0						,		
計画交通量	観点	盲	平価項目·指	標等			評	価								
性		計画交通量			10 000台/日以上				1 5004	→未満				777	nT.	
20km以内にある					,				7,000	1 21 ()149						
### (25)					20km以内にある	4-			る路線で	でない			5			
2	必要性				規制の解消又は市街地 活性化に資する路線で	g.Ø	業、工業	(地域へのアクセス	業、工業 市街地の	地域へのアク	セス,	Α	4	Α		
会事業特有の必要性(安全の確保) 23	(25)							に通じる道路で					2			
### おるものを再整備		各事業特有(の必要性(安	全の確保)	満又は6%以上(幅員			人上6.5m未満	6.5m以	、上(幅員)			4			
関連計画との整合				.		道			步道整	備無し						
理要性 設計上の環境配慮 環境配慮がされ確実性 が高い 環境配慮がされている が確実性が低い 環境配慮をしていない 野急輸送路(1次)に位 野急輸送路(1次)に位 野急輸送路(1次)に位 野急輸送路(1次)に位 野心性の 特別な位置づけはない 場別な位置づけはない 場別な位置づけはない 場別な位置づけはない 場別をは (15)		関連計画との		it					* 該当なり	,	+				2	
(15	重要性	設計上の環境	竟配慮		環境配慮がされ確実		環境配	慮がされている	環境配	憲をしていな	:61	В	2	В		
B / C (費用対効果) B / C 1.5以上 B / C 1.0 - 1.5未満 B / C 1.0 未満 6 事業分果の早期発現(H22以降残事業年数) 事業年数 5年未満(H22以降残事業年数) 事業年数 5年未満(H22以降残事業年数) 事業年数 10年以上 A 3 A (15) コスト縮減 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	所 (15)	地域の法的	な位置付け		緊急輸送路(1次)に	位	緊急輸送路雪地域。過	(2次)又は、振興山村、積 味地域、地震防災対策強化	特別な何	立置づけはな	111		3			
動率性 (H22以降残事業年数) 事業年数 5年未満 事業年数 5年~10年未満 事業年数 10年以上 A 3 A (15) コスト縮減 全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。 コスト縮減はしていないる。 コスト縮減はしていないる。 4 が 計 交通事故や落石等の危険が高所の金融が変を向上させる。 交通事故や落石等の危険が高所の安全を向上させる。 交通事故や落石等の危険が高所が緩和する。 交通事故や落石等の危険がないが安全を向上させる。 技帯箇所が緩和する。 技帯箇所が緩和する。 技帯箇所が緩和する。 受適を緩和する。 受適を緩和する。 受適を緩和する。 と渡海・福祉・教育・会道路(スック箇所の解説的現象を緩和する。 受力・対策ではないが、朝夕の局部的現象を緩和する。 大澤州財策ではないが、朝夕の局部的現象を緩和する。 9 ・ 14 9 ・ 14 ・ 14 ・ ・ 14 ・	平		Ŋ١	it									11		1	
効率性 (H22以降残事業年数) 事業年数 5年未満 室体的に構造物・規格等についる。 いった対解減を実施している。。 事業年数 10年以上 部分的に構造物・規格等についる。 いった対解減を実施している。。 事業年数 10年以上 日本的に構造物・規格等についる。 A 3 A 以本 財子の関係を担かした。 大部減 13 13 13 安全性の向上 野急性 (25) 会事業特有の緊急性(渋滞対策・環境保 全)(医療・福祉・教育) 交通事故や落石等の危険 箇所の安全を向上させる 設滞箇所が緩和する 医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解 語) 交通事故や落石等の危険がない ない 大滞前所ではないが安全を向上させる ない 5 と(25) 決滞箇所が緩和する と要・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる) 活剤 医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる) い道路 医療・福祉の連携に関係ない道路 い道路 9 計画 集積報の共有 住民参加の状況 関係者以外に広く周知 住民が計画策定に直接 参加 市町村からの要望 学が強い 特に使民意見は反映し でいない 特に住民意見は反映し でいない 4 費用対効果(B/C) 2.1 評価の合計 B 74		B / C (費用:	対効果)		B / C 1.5以上		B / C	1.0~1.5未満	B / C	1.0未満			6			
(15) コスト縮減 全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	効率性				事業年数 5年未満		事業年	数 5年~10年未満	事業年	数 10年以上	-	Α	3	А		
小 計 大の通事故や落石等の危険 箇所の安全を向上させる	(15)	,	3.51 (24.)		いてコスト縮減を実施して		いてコス			減はしていた	111	,,	4	, .		
要全性の向上 気虚神政 (***)を14 (**)のに検 前所の安全を向上させる 前所の安全を向上させる 前所の安全を向上させる 前所の安全を向上させる 前所の安全を向上させる 前所の安全を向上させる 前所の安全を向上させる 前所が緩和する 法滞留所が緩和する 医療・福祉の連携が発揮できる道路 (円滑化が図れる) 法滞対策ではない 男々の 局部的現象を緩和する 医療・福祉の連携が発揮できる道路 (円滑化が図れる) に道路 リカー 計 リスター は、			小	Ħ									13			
### 名事業特有の緊急性(決滞対策・環境保全)(医療・福祉・教育)		安全性の向.	Ŀ				所指定は せる	ないが安全を向上さ	ない	や落石等の危障) 検が		5			
(25) 上(区は、間間、外門) きる道路(ネック箇所の解 消) とは原・倫社の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる) とは原・倫社の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる) 9 小 計 地域住民の内発的な要望が強い 市町村からの要望 特に要望がない 6 熟度 事業情報の共有 関係者以外に広く周知 関係者中心に周知 特に周知していない 住民参加の状況 住民が計画策定に直接参加 特に住民意見は反映していない 4 小 計 13 費用対効果(B/C) 2.1 評価の合計 B	緊急性	各事業特有	の緊急性(渋	带対策·環境保					渋滞対!	策ではない		В	0	В		
計画 地域からの要望 地域住民の内発的な要望が強い 特に要望がない B 6 熟度 事業情報の共有 関係者以外に広く周知 関係者中心に周知 特に周知していない B 3 (20) 住民参加の状況 住民が計画策定に直接参加 特に住民意見は反映していない 4 小 計 13 費用対効果(B/C) 2.1 評価の合計 B 74 B	(25)	全)(医療·福	祉·教育)		きる道路(ネック箇所の)					祉の連携に関	係な		9			
新度 事業情報の共有 関係者以外に広く周知 関係者中心に周知 特に周知していない 住民参加の状況 住民が計画策定に直接参加 特に住民意見は反映していない 4 費用対効果(B/C) 2.1 評価の合計 B 74			小	<u></u>									14			
(20) 住民参加の状況 住民が計画策定に直接参加 住民や市町村の意見を計画策定に反映 特に住民意見は反映していない 小計 13 費用対効果(B/C) 2.1 評価の合計 B 74 B					望が強い											
少計 計画東正に反映 Chiない 費用対効果(B / C) 2.1 評価の合計 B 74 B					住民が計画策定に直		住民や	市町村の意見を	特に住	民意見は反明	_	В		R		
費用対効果(B/C) 2.1 評価の合計 B 74 B				<u> </u>	参加		訂凹朿	たに 及 映	くいなし	1	\dashv					
	費用対効	L				育	平価	の 合 計	1		-	В		В		
上史的経緯・社会的 ■輸送路の国道117号である。しかし、雪特地域であることも重なり冬期間は大型車等の事故が常習化している上、災害および冬期豪雪等国道117号通行止の際には、飯	事業実施	に至る歴 本				《箕作~	野沢温	泉村明石に約2kmの					-の迂回ノ	 レ - トが第		
	地域からの緯	の要望経毎	年栄村、野沢	(温泉村及び期)	成同盟会より、非常に強い!	早期整何	構の要望	!があり、地域住!	その嘆願である	3.						
地域からの要望経 緯 毎年栄村、野沢温泉村及び期成同盟会より、非常に強い早期整備の要望があり、地域住民の嘆願である。	事業説明	等の経緯 り、	H19の概略(多正設計成果は	, H19.7.12, H20.6.11, 20,	7.14、	17, 10.3	I、7、H21.8.26化	2数回、役場、	村議、関係[区長及	ひ期が				
# 年末代、野水温泉村及び期成同温泉より、非常に強い手期整備の安皇があり、地域住民の嘆願である。 844年に測量実施の経緯があり、一部用地買収した経緯から地元に周知されている。また、H13~17の概略~予備修正設計成果を村役場へ説明して、事業説明等の経緯 り、H19の概略修正設計成果は、H19.7.12、H20.6.11、20、7.14、17、10.3、7、H21.8.26也数回、役場、村譲、関係区長及び期成同盟会に、各地元任		るの配														
# 年本代、野水温水科及び期放同温芸より、非常に強い手期整備の安皇があり、地域住民の嘆願である。 844年に測量実施の経緯があり、一部用地買収した経緯から地元に周知されている。また、H13~17の概略~予備修正設計成果を村役場へ説明して 事業説明等の経緯 り、H19の概略修正設計成果は、H19.7.12、H20.6.11、20、7.14、17、10.3、7、H21.8.26他数回、役場、村議、関係区長及び期成同盟会に、各地元任 はH20.11.26、27、12.19、H21.2.24にルート説明を実施している。H21.9.14の地元説明会においてルートの了解を得る。 環境・景観への配 環境・景観への配	環 他事業・ブ	プロジェクト特になし。														
# 年末代、野水温汞科及び期放同温芸より、非常に強い手期整備の安皇があり、地域住民の噪願である。 844年に測量実施の経緯があり、一部用地買収した経緯から地元に周知されている。また、H13~17の概略~予備修正設計成果を村役場へ説明して 事業説明等の経緯 り、H19の概略修正設計成果は、H19.7.12、H20.6.11、20、7.14、17、10.3、7、H21.8.26他数回、役場、村譲、関係区長及び期成同盟会に、各地元住 へはH20.11.26、27、12.19、H21.2.24にル・ト説明を実施している。H21.9.14の地元説明会においてル・トの了解を得る。 環境・景観への配 環境・景観への配 横造物でなく土羽構造により緑化を図ることで環境へ配慮するとともに、極力立木を伐採しない方針で計画を立案したい。 他事業・プロジェクト との関連	特記事項								別総合病院は何	飯山赤十字/	病院で	であり、国	道117号	· 通行止	:の際i	
# 年末代、野水温汞科及び期放同温芸より、非常に強い手期整備の安皇があり、地域住民の嘆願である。 844年に測量実施の経緯があり、一部用地買収した経緯から地元に周知されている。また、H13~17の概略~予備修正設計成果を村役場へ説明して、事業説明等の経緯 り、H19の概略修正設計成果は、H19.7.12、H20.6.11、20、7.14、17、10.3、7、H21.8.26他数回、役場、村議、関係区長及び期成同盟会に、各地元信へはH20.11.26、27、12.19、H21.2.24にル・ト説明を実施している。H21.9.14の地元説明会においてル・トの了解を得る。 環境・景観への配 「構造物でなく土羽構造により緑化を図ることで環境へ配慮するとともに、極力立木を伐採しない方針で計画を立案したい。 他事業・プロジェクト との関連 「特になし。 「教育会社会のではないが、緊急輸送後にはないの唯一の迂回路である。また、学村真近の屋内総会病院は無い表土字病院であり、周道117号通行よの際	地域の合意	意形成	全員賛成		概ね賛成		過半数	賛成	動向不同	明		その)他			
# 年末代、野水温泉や及び期成に高芸さり、非常に強い手期登権の安皇かのり、地域住民の嘆願である。 544年に測量実施の経緯があり、一部用地買収した経緯から地元に周知されている。また、H13~17の概略~予備修正設計成果を村役場へ説明しては事業説明等の経緯では計成果は、H19.7.12、H20.6.11、20、7.14、17、10.3、7、H21.8.26他数回、役場、村譲、関係区長及び期成同盟会に、各地元についる。 7.14、17、10.3、7、H21.8.26他数回、役場、村譲、関係区長及び期成同盟会に、各地元についる。 7.14、開発を得る。 7.12、開発を得る。 7.12、開発を得る。 7.12、開発を得る。 7.12、開発を得る。 7.12、開発を得る。 7.12、日本の配置をは、「10、日本の配置を含むまたい。 7.12、日本の配置を含むまた。 7.13、日本の配置を含むまた。 7.13、日本の配置を含むまた。 7.13、日本の配置を含むまた。 7.13、日本の配置を含むまた。 7.13、日本の配置を含むまた。 7.13、日本の配置を含むまた。 7.13、日本の配置を含むまた。 7.13、日本の配置を含むまた。 7.13、日本の配置を含むまた。 7.14、日本の配置を含むまた。 7.1		必要性、効率 い。	⊠性の評価レ	ベルは高い。今	後計画熟度を高め、事業化	を検討				必要性	生は認	! められる	3.			
# 年末代、野水温泉村及び期成同温芸より、非常に強い手期整備の安皇があり、地域主民の嘆願である。 844年に測量実施の経緯があり、一部用地買収した経緯から地元に周知されている。また、H13~17の概略~予備修正設計成果を村役場へ説明して、 事業説明等の経緯 り、H19の概略修正設計成果は、H19.7.12、H20.6.11、20、7.14、17、10.3、7、H21.8.26他数回、役場、村譲、関係区長及び期成同盟会に、各地元信念はH20.11.26、27、12.19、H21.2.24にルート説明を実施している。H21.9.14の地元説明会においてルートの了解を得る。 環境・景観への配慮項目													直路改多	a. / +₩ - C	'呆 /	